



## NASUKOUGENLONGRIDE2015 感想

～いざ、那須の山へ～

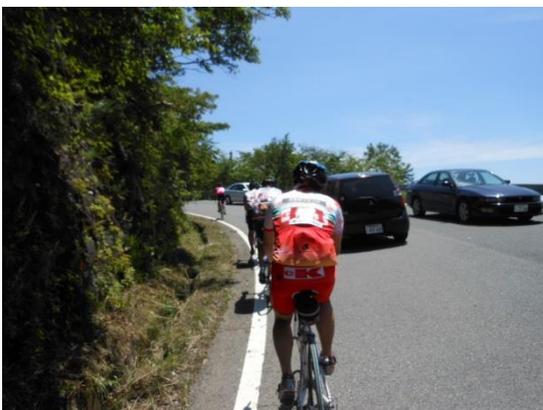
人間文化学部 4年

高柴政希

皆さんは、長距離を自転車のみを使い完走を目指す「ロングライドイベント」というものを知っていますか。「NASUKOUGENLONGRIDE2015」

もこのロングライドイベントの1つです。自転車であればママチャリでもマウンテンバイクでもロードバイクでも参加することができます。このイベントは以下の5つのコースに分けられています。

前半は10%を超える激坂ある上り坂を超え峠の茶屋頂上を目指し、後半は板室温泉を経由したアップダウンの連続が続く全長約100kmのコース、「ヒルクライム100」。途中までヒルクライム100のコースと同じコースを走り峠の茶屋の手前で分岐、そこからはロイヤルロードを経由してヒルクライム100と同じコースでゴールに戻る全長約70kmのコース、「チャレンジ70」。途中までヒルクライム100・チャレンジ70と同じコースを走り、上り坂が始まる手前で分岐。そこからは、長い上りのないほぼ平坦を走る全長約55kmのコース、「エンジョイ55」。上り坂が少なくのんびりと自転車の旅を楽しめる短距離なコースである全長約20kmのコース、「ファミリー26」。松尾芭蕉が歩んだ歴史探訪里山コースとして、雲巖寺を経由した全長約75kmのコース。「芭蕉苦行75」。この5つのコースのどのコースを走りたいのかイベントの前に申請すると、各コースの色ゼッケンが届くのでそれを着用して走ります。何を目的にして走るのかによってコースを選ぶことができるのがこのイベントの良さでもあります。また、それぞれのコースに休憩場所としてエイドステーションが何か所も設けられてあり、そこで水分補給のための水やスポーツドリンク、氷はもちろん、那須でとれた野菜や那須で育てられた和牛、それらの具材を生かしたおにぎりを食することができます。休憩をこまめにとることができて、さらに那須の美味しいものを食べるのがこのイベントです。



私は「ヒルクライム100」に出場しました。この「ヒルクライム100」のコースには3つのチェックポイントがあります。チェックポイントというのは、決められた時間までにその地点に到達できないとコースをショートカットして走ることになる地点のことです。参加者にはイベントを楽しみつつ休憩等の時間配分をして走ることが求められます。私も、なんとかチェックポイント全てを時間内に走

り抜け 100km 走りきることができました。

この 100km のコースは、スタートして間もなく荘厳な那須連山を目の前に見ながら走ることができます。そしてフラワーワールドに咲く那須の花々を横目に走り抜けると、本格的な登りに突入します。きつい上り坂でしたが左右に牧場が広がる那須高原ならではの風景に心を打たれます。そんな景色に囲まれていると、自転車を漕いでいるだけでとても楽しい気持ちになります。普段、車を運転していてもこんな気持ち



になることはありません。それもそのはずです。自転車に乗れば、花や牧草の匂いを感じ、風を切り裂く音が聞こえ、サングラスから見える少し暗く見える景色に期待が高まり、ペダルを漕ぐのが苦にならないのですから。自転車は五感で自然を感じながら走るからこそ普段とは違う景色が良く見え、それを味わうことができるのです。

那須の自然も堪能しましたがもう一つ堪能したのがあります。それは、食べ物です。なんとといっても、エイドステーションで提供している食べ物が豊富でした。地元で作られた野菜はとても新鮮でシャキシャキしていますし、峠の茶屋のエイドステーションで食すことができる、うなぎにぎり（うなぎのおにぎり）はちょうど良い塩気で疲れた体を癒してくれます。また、那須で作っているお菓子や牧場のソフトクリームも食すことができ、た

だの休憩場所としてのエイドステーションではなく、1つ1つのエイドステーションが那須町の魅力を発信していました。

「NASUKOUGENLONGRIDE2015」は、那須の大自然を自転車で走り抜け、休憩時に那須の美味しいものを食べることが出来る、那須の魅力を体全体で味わうことができるイベントだったと振り返ります。皆さんもロングライドイベントに是非参加してみたいはいかがでしょうか。

